

フィールド言語学ウェビナー2021 開催について

2021年7月21日

国立国語研究所 言語変異研究領域

木部暢子

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所

塩原朝子

趣旨説明 国立国語研究所（国語研）「消滅危機言語・方言」プロジェクトおよび東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築」プロジェクト（LingDy3）の連携事業の一環として、第一線で活躍するフィールド言語学者の知見と技術を若手研究者に共有することを目的に、この度「フィールド言語学ウェビナー」を開催する運びとなりました。両機関は、各地の大学とも連携しながら、2016年度より言語学的フィールド調査の技法についての少人数ワークショップを共同開催してきました。

今年度は、昨年度と同様にオンラインでセミナーを開講します。言語・方言のフィールドワークに興味関心がある学生のみなさんや卒論・修論のテーマとして言語・方言の記述を考えている学生のみなさんの積極的な応募をお待ちしています。なおプログラムの詳細については次ページを参照してください。

応募資格 言語・方言のフィールドワークに興味を持つ大学生（4年生以上）及び大学院生
※ 応募資格要件を満たさない方のご応募も可能ですが、応募状況によっては受講をお断りさせていただく可能性がございます。あらかじめご了承ください。

参加費 無料

定員 第1部 30名 第2部 15名

申込先 下記URLにアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。なお、右記QRコードからでも同じページにアクセスできます。



<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/210819-flws-ninjal/>

応募締切 2021年8月16日（月）正午 ※定員に達し次第、募集を締め切ります。

問合せ先 haoi@aa.tufs.ac.jp 青井隼人（AA研/国語研）

プログラム

日 時 2021年8月19日（木）

場 所 ZOOM 会議室 ※ 会議室の URL は、受講者に開催日前日までに連絡します。

時 間 割

9:50 ごろ	開室
10:00～10:05	開会の挨拶
10:05～11:35	第1部 講演（講師：マシュー・ジスク（東北大学）） 「日本語記述のためのグロスの付け方と音素表記：古典日 本語・訓点語を一例に」
11:35～11:55	質疑応答
11:55～14:00	昼休憩
14:00～17:00	第2部 演習（講師：木本幸憲（兵庫県立大学）） 「言語記述とドキュメンテーションのための ELAN 活用法」
17:00～17:05	閉会の挨拶
17:30 ごろ	閉室

参 考 昨年度の事前研修については以下をご参照ください：

<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/201205-flws-ninjal/>